第10回公立大学法人秋田県立大学教育研究協議会 議事要旨

- 1 日時: 平成24年1月11日(水) 13:00~14:30
- 2 会場:秋田キャンパス 会議室
- 3 出席者

(委員)

小間学長、柚原副理事長、小林副学長、中村理事、小林システム科学技術学部長、佐藤 生物資源科学部長、高橋総合科学教育研究センター長、飯島木材高度加工研究所長、水 野教授、谷内教授、吉澤教授、高橋教授

(オブザーバー)

佐藤理事、吉﨑監事、野田参与

4 議事概要

○ 議題

【審議】

- 1 教員の人事【総務本部】
 - 1) 生物資源科学部教員(生産)の採用 生物生産科学科教員(助教)の選考結果について報告があり、1名の採用を了承し た。
 - 2)総合科学教育研究センター教員(英語)の採用 総合科学教育研究センターの英語の教員(助教)の選考結果について報告があり、 1名の採用を了承した。

2 規程の改正

- 1) 秋田県立大学動物実験規程の制定【研究・地域貢献本部】 「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本方針」の遵守の徹底に伴う、 「秋田県立大学動物実験規程」の制定について説明があり、了承した。
- 2) 秋田県立大学研究生規程の改正【教育本部】 外国人からの志願への対応と指導教員の明確化のため、「秋田県立大学研究生規程」 の様式の一部改正について説明があり、了承した。

- 3 学生の表彰【教育本部】 卓球部(団体)の功績に対する表彰について、了承した。
- 4 美郷町と秋田県立大学との連携協定【研究・地域貢献本部】 美郷町との連携協力協定の締結に係る協定書や覚書について説明があり、了承した。

【報告】

- 1 システム科学技術学部教員(経営)の退職【総務本部】 経営システム工学科の教授の退職について報告があった。
- 2 平成24年度特別推薦入学 I・Ⅱの出願状況【教育本部】 平成24年度特別推薦入学 I・Ⅱの出願状況について報告があった。
- 3 学生対応セミナー【教育本部】 学生対応セミナーの開催について報告があった。
- 4 学生と学長との懇談会【教育本部】
 - ・システム科学技術学部・研究科 学生と学長との懇談会(システム科学技術学部)の概要について報告があった。
 - ・生物資源科学部・研究科 学生と学長との懇談会(生物資源科学部・研究科)の概要について報告があった。
- 5 タイ・コンケン大学との学部間協定【研究・地域貢献本部】 生物資源科学部とタイ・コンケン大学との国際学術交流協定について報告があった。
- 6 農水省委託事業に関する経理調査【研究・地域貢献本部】 農水省委託事業に関する経理調査の指導事項について報告があった。
- 7 文部科学省の公的研究費の不適切な経理に関する調査報告【研究・地域貢献本部】 公的研究費の不適切な経理に関する調査結果について報告があった。
- 8 「農を変えたい! 東北集会 in あきた」の後援【研究・地域貢献本部】 「農を変えたい! 東北集会 in あきた」の後援について報告があった。

9 平成23年度大学間連携合同シンポジウム「女性研究者支援から男女共同参画推進へ」の 共催及びパネリスト派遣【総務本部】

平成23年度大学間連携合同シンポジウム「女性研究者支援から男女共同参画推進へ」 の共催及びパネリスト派遣について報告があった。

10 情報システム・セキュリティ対策の推進【企画・広報本部、総務本部】

新日本監査法人のIT調査報告書に基づく情報システム・セキュリティ対策の推進 (案) について報告があった。

11 公立大学法人秋田県立大学顧問設置規程【総務本部】

「公立大学法人秋田県立大学顧問設置規程」の制定について報告があった。

12 顧問の委嘱【総務本部】

平成24年4月1日付けの顧問の委嘱について報告があった。

13 役員の任命

平成24年4月1日付けの副理事長の任命について報告があった。

14 教育本部・センター設置構想図【企画・広報本部】

教育本部・センター設置構想図(案)について説明があった。委員会の統廃合やキャンパス懇談会の位置付け、情報の伝達経路が分かるように、再検討する旨報告があった。

15 鳥海高原菜の花まつりの協力【研究・地域貢献本部】

第3回鳥海高原菜の花まつりへの協力依頼について報告があった。

16 大学院設置基準等の改正案への意見(公立大学協会)【企画・広報本部】

大学院設置基準等の改正案への意見が公立大学協会から提出されたことについて報告があった。

○その他

- ・同窓生の名簿管理や同窓会支部の設置を進めるため、退職した役職員などの協力を得ながら、 大学として同窓会への支援を行うべきとの意見があった。
- ・大潟村より、開村50周年を記念して、学会等を誘致したい旨申し出があったことから、大 潟村での開催を関係学会へ働きかけるよう連絡があった。

- ・2月・3月のスケジュールを確認した。
- ・学内外情勢について確認した。

以上